

第2回 景観専門委員会の報告

平成18年2月21日

景観特性区分 <大橋川の現況景観を特性毎に区分>

歴史・伝統を感じさせる区域①



大橋や老舗旅館が位置するとともに、それを引き立てるヤナギ並木が続くなど「国際文化観光都市松江」の歴史・伝統を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域①

古くからの商業施設や民家が集まり、また、水辺ではシジミの選別が行われるなど、市民の生活の佇まいを感じさせる景観となっている。



都市化を感じさせる区域①

比較的大規模な公共施設、マンション等が立ち並ぶなど、都市化の進展を感じさせる景観となっている。



自然の豊かさをと感じさせる区域①

大規模な建造物も少なく、中の島や中州の水田・緑地が広がるなど自然の豊かさをと感じさせる景観となっている。



中海大橋からの眺め

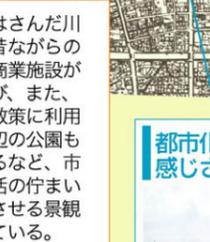


都市化を感じさせる区域②

山陰合同銀行本店ビルに代表されるように、いくつかのビルが立ち並ぶなど都市化の進展を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域②

道路をはさんだ川沿いに昔ながらの民家や商業施設が立ち並び、また、市民が散策に利用する水辺の公園も位置するなど、市民の生活の佇まいを感じさせる景観となっている。



都市化を感じさせる区域③



高層、低層の商業ビルが混在するなど都市化の進展を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域③



沿川には、道路、宅地、工場、商業施設、港などとともに、住民が釣りを楽しむなど、生活の佇まいを感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域⑤



昔ながらの集落が川沿いに形成されるとともに、水辺では住民が釣りを楽しむなど、生活の佇まいを感じさせる景観となっている。

歴史・伝統を感じさせる区域②



出雲国風土記にも記載の残る多賀神社、「矢田の渡し」とともに、塩橋島には手間天神社があるなど歴史・伝統を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域④



長い間地域の文化的財産として受け継がれてきた「矢田の渡し」やその周辺の集落など、川とともに歩んできた生活の佇まいを感じさせる景観となっている。

自然の豊かさをと感じさせる区域②



川沿いの湿生植生やその背後の水田など、緑豊かな自然を感じさせる景観となっている。



穴道湖大橋からの眺め



第2回景観専門委員会の内容

委員会の内容

大橋川周辺の景観要素を「観光・歴史」「生活・文化」「自然」別に特性分析を行った結果について、委員からは、朝霧やシジミ漁などのように、天候や時間による景観も検討する必要があるのではないかといった意見がありました。

また、今後進めていく治水とまちづくりの事業は景観と密接に関わることであり、現況だけではなく失われた景観の創出や将来を見据えた視点も必要ではないかという意見もあげられました。

他にも、いくつかのゾーンで特性を捉えるのも重要だが、地域の人々が気に入っている個々の場所での景観も大切な要素であるなど活発な話し合いが行われました。

<検討内容>

1. 大橋川沿川における現況の景観について
2. 景観専門委員会の今後の流れと基本方針検討手順について

委員紹介

- | | | | |
|----------|---------------------|-------|-------------------|
| 欠席 坂田 俊之 | 日本技術士会 中・四国支部副支部長 | 藤岡 大批 | 島根女子短期大学名誉教授 |
| 藤田 光一 | 国土技術政策総合研究所河川環境研究室長 | 松本 修宗 | 島根県景観アドバイザー(造園修景) |
| 吉田 薫 | 島根県景観アドバイザー(土木) | | |
- <敬称略五十音順>



検討1 現況景観の整理・分析

第2回景観専門委員会では、大橋川沿川の現況景観に関する整理・分析を次のような手順で行いました。

大橋川の現況把握調査(既存資料調査・現地踏査)

大橋川沿川の景観要素の抽出・整理

- ◆観光・歴史的景観要素
 - ◆生活・文化的景観要素
 - ◆自然面からみた沿川現況
- 現況把握調査の結果とともに、大橋川の景観要素を観光・歴史、生活・文化、自然の各観点から抽出・整理

大橋川の景観的特性の整理

- ◆景観特性整理
 - ◆景観特性区分 上の図面
- 抽出された景観要素を実際の「眺め」から検討し、区域ごとの景観特性を整理

景観特性を踏まえた事業実施のポイント

- ◆治水・まちづくり事業において注目すべきポイント一覧
- 各景観特性について、今後の治水・まちづくり事業によって注目すべきポイントを整理

検討2 景観専門委員会の今後の流れ

第1回(大橋川周辺まちづくり検討委員会と合同で開催)

- ◆委員会立ち上げ
 - ・松江市および大橋周辺地域の現状について
 - ・大橋川改修の具体的内容について
- 平成17年11月18日(金)

第2回

- 1 現況景観の把握・分析
 - ・大橋川沿川の景観要素の抽出・整理
 - ・大橋川の景観的特性の整理(様々な構図からみた特性の整理)
- 平成18年1月26日(木)

第3回

- 2 「景観形成にあたり配慮すべき事項」のとりまとめ
- 3 景観形成における「基本方針」の検討

第4回以降

- 4 景観形成における「基本計画」の検討
- 5 形成される景観の評価手法の検討
- 6 景観形成における「基本設計」とその景観評価

景観特性区分 上流部拡大図

都市化を感じさせる区域①



比較的大規模な公共施設、マンション等が立ち並ぶなど、都市化の進展を感じさせる景観となっている。

歴史・伝統を感じさせる区域①

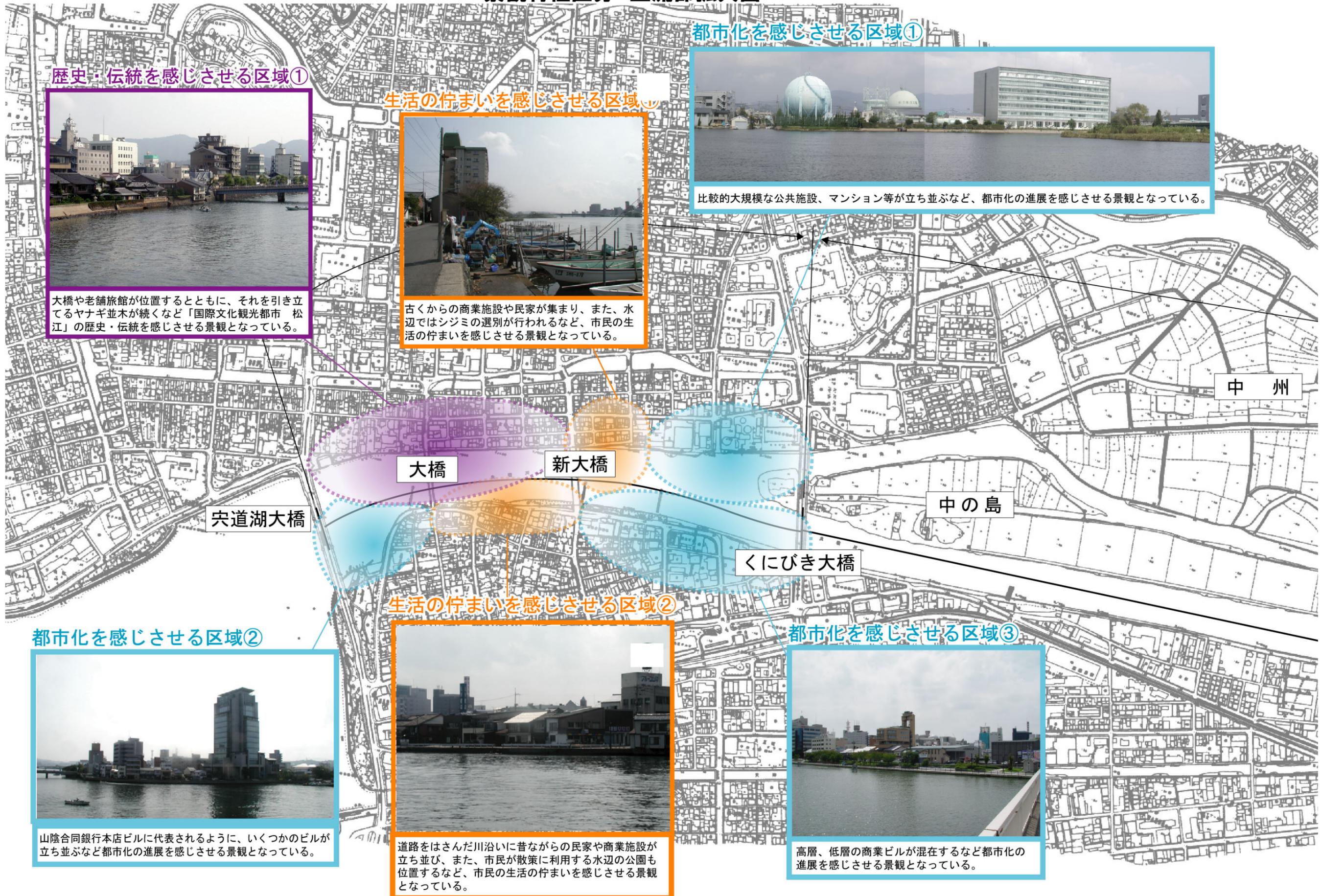


大橋や老舗旅館が位置するとともに、それを引き立てるヤナギ並木が続くなど「国際文化観光都市 松江」の歴史・伝統を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域①



古くからの商業施設や民家が集まり、また、水辺ではシジミの選別が行われるなど、市民の生活の佇まいを感じさせる景観となっている。



都市化を感じさせる区域②



山陰合同銀行本店ビルに代表されるように、いくつかのビルが立ち並ぶなど都市化の進展を感じさせる景観となっている。

生活の佇まいを感じさせる区域②



道路をはさんだ川沿いに昔ながらの民家や商業施設が立ち並び、また、市民が散策に利用する水辺の公園も位置するなど、市民の生活の佇まいを感じさせる景観となっている。

都市化を感じさせる区域③



高層、低層の商業ビルが混在するなど都市化の進展を感じさせる景観となっている。

観光・歴史的景観要素分布図

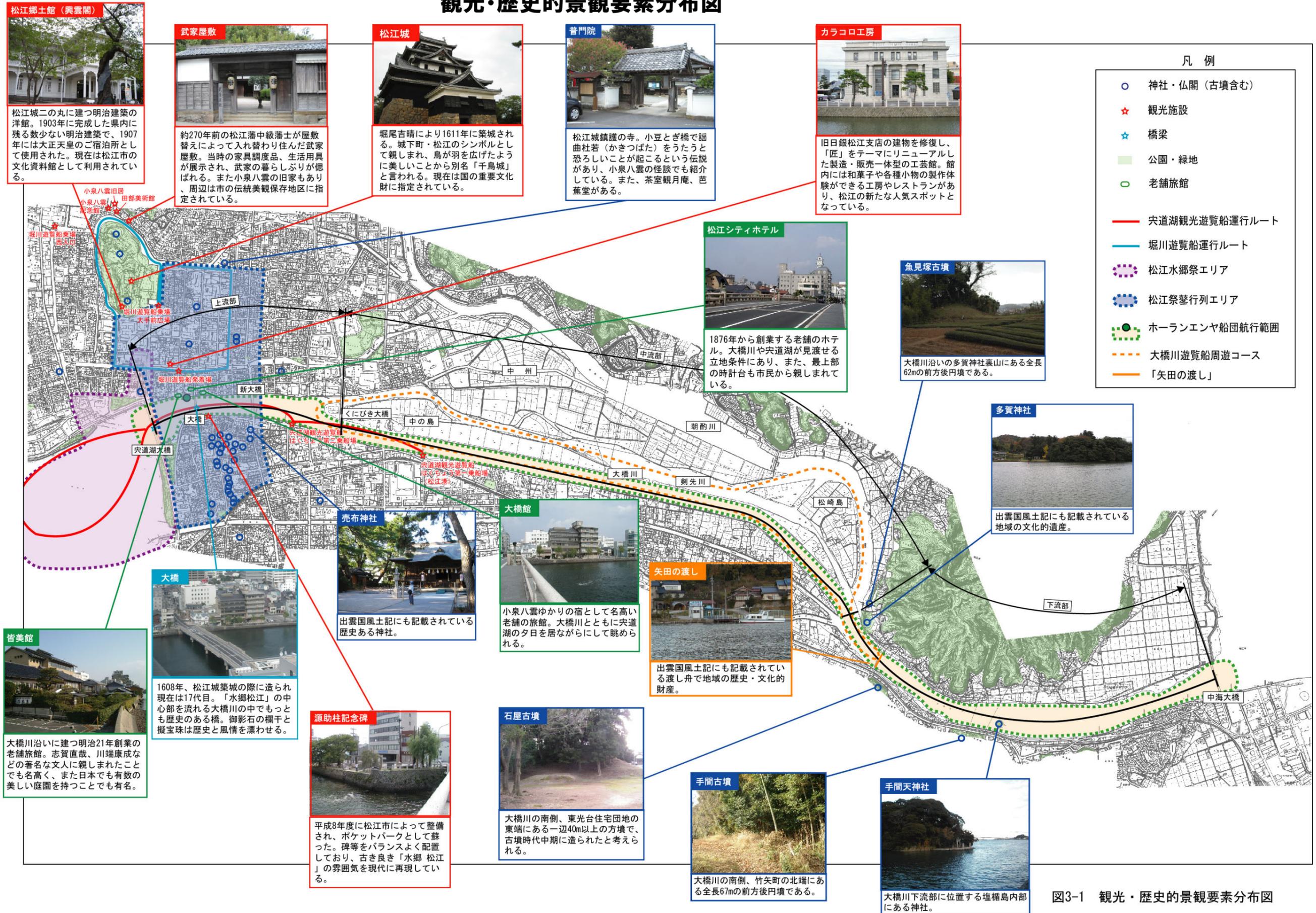


図3-1 観光・歴史的景観要素分布図

0 500m

生活・文化的景観要素分布図

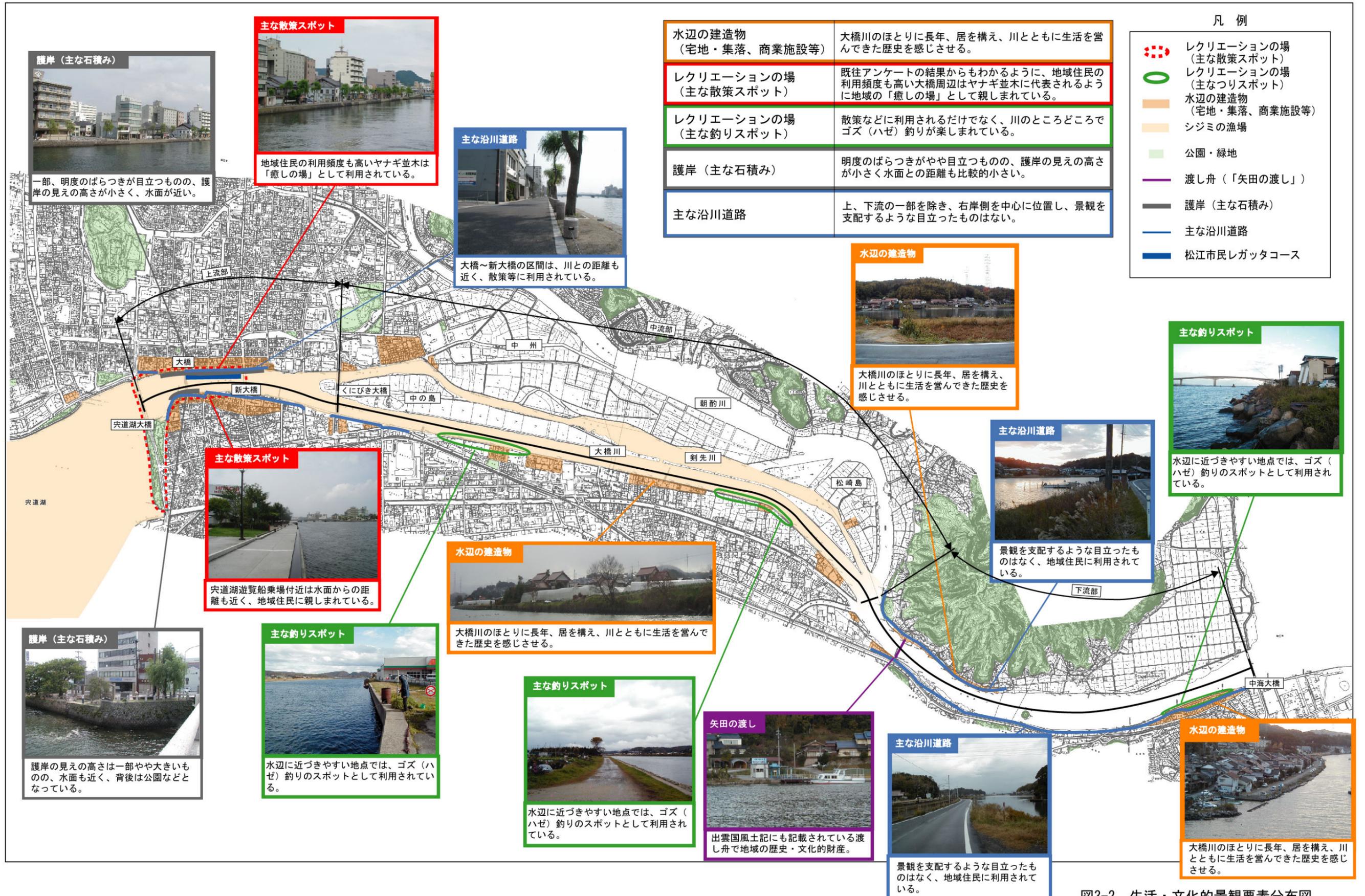
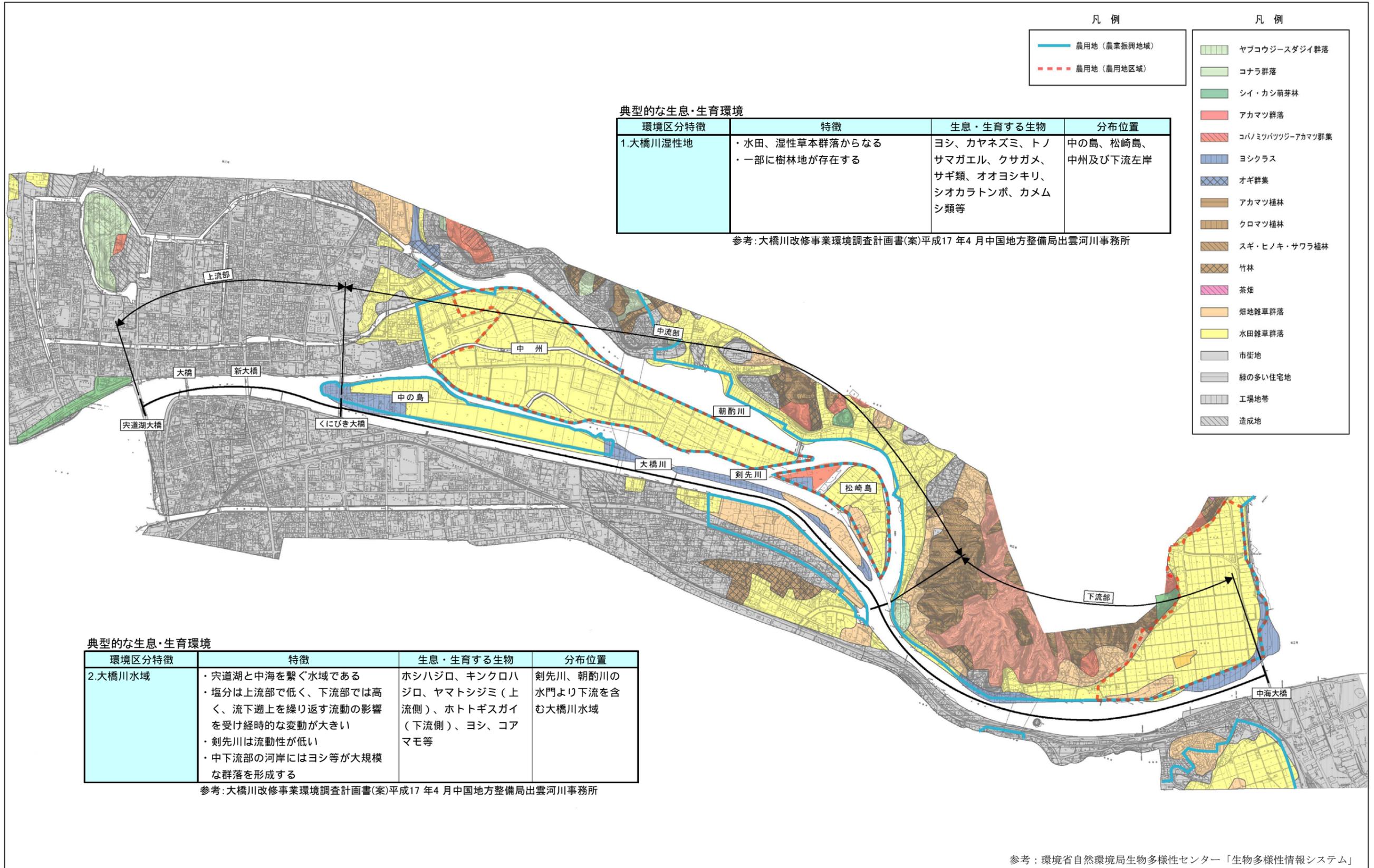


図3-2 生活・文化的景観要素分布図



自然面からみた沿川状況図



参考: 環境省自然環境局生物多様性センター「生物多様性情報システム」

図3-3 自然面からみた沿川現況図

